







番号	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-4	数学 I・A	1	S	3+2	必修

何を学ぶか

- ・数学 I は、数と式、2次関数、図形と計量、データ分析を学びます。
- ・数学Aは、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質を学びます。
- ・高等学校数学の基礎的な定理や公式を証明し、それらの演習問題を解くことを通して、数学的な能力を身に付けていきます。

学習目標

- ・基礎的な知識の習得や問題を解く力の習熟を目指します。
- ・事象を数学的に考察し、処理する能力を養います。
- ・将来の進路希望を実現できるように、実践的な力を養います。

学習方法

- ・予習は、教科書に目を通し、例題の解法についての理解に努めます。
- ・復習は、習った例題や練習問題をもう一度、自分で解きます。理解できないところは、担当の先生に質問してください。問題集の類題を解くと、さらに理解が深まります。
- ・毎日続けることが大切です。

評価方法

- ・定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度、課題学習等の提出状況、授業中の取り組み状況を中心に知識・理解・興味・関心・意欲等総合的に評価します。

授業予定

科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
数学 I	数と式	■	■																																		
	2次関数																																				
	図形と計量																																				
	データの分析																																				
数学 A	場合の数と確率																																				
	整数の性質																																				
	図形の性質																																				







番号	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-8	体育	1	S・A	3	必修

**何を学ぶか**

- ① 自学・自律・自鍛の久御山高校の教育方針を踏まえて、生徒自らの自主性・主体性を培う。
- ② 生涯スポーツの観点から、計画的に運動を実践できる能力を養う。
- ③ 科学的根拠に基づいた運動実践により自らの健康の増進と体力の向上ならびに精神面の強化を図る。

**学習目標**

・各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

**学習方法**

- ・1学期始めに、オリエンテーションをし、集団行動・スポーツテストを行う。
- ・各学期毎に選択種目を2種目を行う。各種目とも基本的な体力や技能の習得を目指す。
- ・また、剣道・ダンス・陸上の選択は、2・3学期を通じて行い、2年次での変更は認められない。

**評価方法**

- ・種目ごとに、①運動技能(20%)、②関心・意欲・態度(50%)、③思考・判断(20%)、④知識・理解(10%)の割合で総合的に評価する。
- ・評価内容は、①運動技能は個々のスキル点、②関心・意欲・態度は参加状況と活動意欲、③思考・判断はゲーム点と課題感想レポート、④知識・理解は各種目ルール、技術理論等の理解度である。欠席等をなくして意欲的な授業への参加を求める。

**授業予定**

科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬						
体育	男	集団行動・スポーツテスト	■	■																																				
		剣道			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
	女	体づくり運動			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
		体育理論												■																										
	ア	サッカー			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
		バスケットボール			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		バレーボール			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		イ	バドミントン			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		ウ	テニス			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		ウ	ソフトボール			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		ダンス																																						
		陸上競技																																						

■は必修種目 ●は選択して実施する種目(球技はア～ウから2つ以上を選択)  
 \* 3学期の陸上競技は長距離走とし、週2時間行う

番号	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-9	体育	1	P	3	必修

何を学ぶか

- ① 自学・自律・自鍛の久御山高校の教育方針を踏まえて、生徒自らの自主性・主体性を培う。
- ② 生涯スポーツの観点から、計画的に運動を実践できる能力を養う。
- ③ 科学的根拠に基づいた運動実践により自らの健康の増進と体力の向上ならびに精神面の強化を図る。

学習目標

・各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

学習方法

- ・1学期始めに、オリエンテーションをし、集団行動・スポーツテストを行う。
- ・各学期とも剣道を1時間行い、2時間は別の2種目を行う。各種目とも基本的な体力や技能の習得を目指す。

評価方法

- ・種目ごとに、①運動技能(20%)、②関心・意欲・態度(50%)、③思考・判断(20%)、④知識・理解(10%)の割合で総合的に評価する。
- ・評価内容は、①運動技能は個々のスキル点、②関心・意欲・態度は参加状況と活動意欲、③思考・判断はゲーム点と課題感想レポート、④知識・理解は各種目ルール、技術理論等の理解度である。欠席等をなくして意欲的な授業への参加を求める。

授業予定

科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
体育	集団行動・スポーツテスト	■	■																																		
	剣道				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	体ほぐし・体育理論				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	ウェイトトレーニング				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	陸上競技																																				
	男:バスケットボール																																				
	女:バレーボール																																				
	長距離走																																				







番号	科目名	学年	コース・類	単位数	備考
1-13	美術 I	1	S・A・P	2	選択必修

### 何を学ぶか

- ・表現基礎〈デッサン・ドローイング〉
- ・発想を構成する力〈アイデアスケッチ・エスキス〉
- ・表現技法〈絵画・デザイン・彫刻の技法を学び、表現力を深める〉
- ・鑑賞〈様々な作品や伝統文化に接することで、美的なものに親しむ心と眼を養う〉

### 学習目標

- ・素直な気持ちで、何を表現したいのか明確にする。〈独創性(オリジナリティー)を追求〉
- ・豊かで自由な表現力を養う。〈様々な表現技法を学び、新しいものに挑戦し、感性を豊かにする〉
- ・真摯に作品に取り組み、できる限り時間をかけて丁寧に仕上げる。〈表現力を深める〉

### 学習方法

- ・表現基礎・リアルな表現〈鉛筆の細密デッサン・作品の下絵や原画をドローイング〉
- ・発想を作品の原画として構成する〈イメージを明確に☑資料収集☑アイデアスケッチ・エスキス〉
- ・絵画技法〈アクリル絵具の基本に様々な画材で表現してみる。「身近なものをモチーフにする」
- ・パッケージデザイン〈デザインの基礎〉「ギフトBOXをつくる」
- ・彫塑〈彫刻刀・工具の使用方法・浮き彫りの基本〉「レリーフの制作」
- ・あらゆる機会を通して様々な作品を鑑賞する。〈映像資料の活用〉

### 評価方法

- ・すべての作品を完成させ提出することが原則。
- ・その上で、「完成度・時間をかけた丁寧な仕上げ」「独創性・表現の工夫」などを総合的に判断する。
- ・出欠遅刻過多や授業態度も点数化はしないが、評価をする上で考慮する。

### 授業予定

科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
美術 I	表現基礎	■																																			
	アクリル画	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	デザイン	■																																			
	彫塑	■																																			
	鑑賞	■																																			









